

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 25 年度第 11 回）議事録

日 時 平成 26 年 2 月 28 日（金）16：30～17：10
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 佃和夫理事 末松誠理事 門田守人理事
中釜斉理事 荒井保明理事
小野高史監事

議事概要

I. 理事会（平成 25 年度第 10 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を荒井保明理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 報告事項

1. 平成 26 年度年度計画案について

- ・平成 26 年度計画案として提示した資料は、まだ、各部署等からの意見をまとめたもので、これから検討を行い、次回理事会で最終案を提示するとの報告がなされた。

2. 動画再生ソフトによるコンピューターウイルス感染について

- ・2月6日に報道されたコンピューターウイルスの感染について経過報告がなされた。また、今後の対策として、個別のパソコンによるアンチウイルスソフトだけでは対応困難であることから、インターネットの出入口に侵入防止機能を導入するとの報告がなされた。

3. 顧問会議の開催について

- ・平成 25 年度の顧問会議開催（3月6日）について報告がなされた。

4. 小児がん中央機関における国立がん研究センターの役割について

- ・小児がん中央機関に指定された旨の報告及び当センターの役割について報告がなされた。

5. がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会について
 - ・厚生労働省健康局長の諮問会議として「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会」が発足し、理事長が座長を務めるとの報告があった。
 - ・就労における個人の権利という法律的な議論とならないよう注意すべきとの意見があった。
 - ・働く側、雇用する側、双方に意識の改革が必要ではないか。また、社会全体の意識を変えていく契機となる議論が必要との意見があった。

6. がん登録等の推進に関する法律の施行に関する質問主意書について
 - ・がん登録等の推進に関する法律の施行に関する質問主意書が提出されているとの報告がなされた。

7. 月次決算（1月分）
 - ・1月築地決算及び平成25年度決算見込み並びに平成26年度計画案について報告がなされた。
 - ・コストとそれに伴う収益の分析が必要との意見があった。
 - ・高度専門医療を行うと収入は伸びるが、費用はそれ以上に伸びる実態があり、その構造についての説明及び意見が出された。
 - ・希少がんや難治がん、高度医療などは現状の診療報酬体系での対応は限界があり、社会保険医療協議会等への働きかけ等も必要との意見が出された。

Ⅲ. 審議事項

- ・特になし